

認知症に関する活動計画(概要)

秋田県作業療法士会では、認知症の人と家族の会秋田県支部および若年性認知症家族会（つばみの会）と連携して、ご家族やご本人からの相談対応、家族会向けの講習会の企画と開催、および家族会が実施するイベントの企画・運営・実施に関する支援をおこなう。

県士会会員向けのイベントとしては、横の繋がりを目的としたワールドカフェ、知識獲得や他職種との連携を目的とした研修会の実施を予定している。これらの家族会および県士会会員向けのイベントは、学生の教育を兼ねて、秋田大学医学部保健学科の学生サークル「認知症の人の生活支援研究会：SSLD」と連携しておこなう。

また秋田県や秋田市が主催する認知症施策に関する会議に参加し、認知症を持つ方が社会の一員として生活しやすい環境整備を目指す。

世界アルツハイマー・デーでのイベントの企画

認知症の人の家族の会とタイアップして、アルツハイマー月間における広報活動（秋田駅ぽぽろーどでの認知症に関するパンフレット配布，秋田県おれんじ大使による記念講演，各県家族会を中継するライブ配信にオレンジライトアップしたセリオンタワーから参加）をおこなう。

また横手市で開催する第2回オレンジフェスタにおいて、学生サークル「認知症の人の生活支援研究会:SSLD」がコーナーを一部担当する。



認知症の人と家族の会との連携事業

認知症の人と家族の会との連携に関しては、同会秋田県支部の法人会員および世話人の一員として、同支部がおこなう事業の企画・運営・実施に参画している。具体的には毎月第3日曜日に開催する認知症カフェ（ひまわりカフェ）において、各専門職持ち回りのミニ講義の開催、ご家族やご本人からの相談対応、支部報の作成などを担当している。

また若年性認知症の会（つばみの会）においても、第4日曜に開催されるつばみカフェにおいて「認知症の人の生活支援研究会：SSLD」と共に参加し、ご本人に対する活動提供およびご家族からの相談（例えば徘徊への対応、わかりやすい表示方法など）に対応している。



研修事業（士会独自の取り組みなど）

認知症に関わる作業療法士の横の繋がりを構築するために、2023年度より、年2回「認知症ワールドカフェ」をワールドカフェ方式で開催し、各病院・施設における取り組みや悩みを共有している。

またこれに加え2025年度には、秋田情動療法研究会とタイアップして、作業療法士や医師を含む認知症のケアやリハに関わる全ての職種を対象にした研修会を、10月に東北日赤看護大学を会場に開催する。

